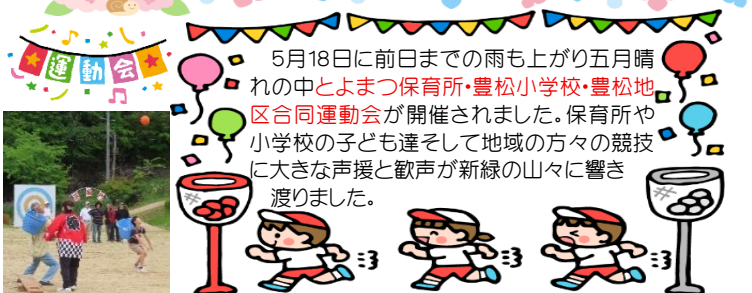


豊松協働支援センターだより「結び」

ほうし
芒種

笑顔で暮らせる 持続可能な地域づくり

令和7年6月16日
豊松協働支援
センター発行
第93号



特定非営利活動法人与よまつむら通常総会

5月27日(火)に特定非営利活動法人与よまつむらの通常総会が開催されました。「令和6年度事業報告・活動計算書及び貸借対照表並びに財産目録」、「令和7年度の活動計画書・活動予算書」について原案どおり承認され、任期満了に伴う役員改選では、理事長に引き続き藤原茂さんが選任され、平岡孝廣さんの退任に伴い上睦二さんが新しく理事に選任されました。とよまつむらふるさと応援団員 109 人・会費 398,000 円、ふるさと納税の交付金は 47,000 円、コーヒーの売上などの事業収入が 421,274 円であり、地区内外の人たちの出会いと交流の場である「ちよとよりんさい」や「昭和のおもちゃ・資料館」の運営等に当てられていることが報告され、これらの施設の管理運営、地区情報発信など引き続き取り組むことが決定されました。また、物価の高騰で運営が厳しくなってきたが、当面コーヒー代は値上げしないことになりました。

なお、各年度の事業報告及び活動計算書は、豊松協働支援センターのホームページで公開しています。

※とよまつむらふるさと応援団員の募集は引き続き行っていますので、登録をお願いいたします。

※クローズアップ縁 ⑤※

スマイル農園 代表 中山秀一さん
年齢:47 歳
出身地:大阪府枚方市(10 歳から広島市中区)
現住所:神石高原町有木
職業:農業(トマトと多肉植物「アガベ」の生産・販売)



■豊松に移住したきっかけ

福岡で会社勤めをしていたが、日本を始め世界の情勢をみていると、これからは農業の時代が来ると感じ、勤めていた会社を退職し 2014 年に高知県に渡り有機農業の勉強を始めた。最初には有機栽培を教わったのは、その業界では有名な「山下一穂先生」。その後 3 年の修行を経て、有機農家になるために広島県内で農業に向いている標高の高い土地を探していた時、空き家バンクで現在の家と土地に出会い、2017 年に移住し現在に至る。

■仕事内容

高額な初期投資を行い有機栽培でのトマトづくり始めて 8 年が経つ。経営計画の段階で販路は確定させていたため、比較的スムーズな経営ができています。持病の腰痛が悪化したことと人材不足もあり、現在はトマトの生産をストップしているが、来年の生産に向け、落葉と腐菌床だけを使った土壌の改良を行っている。有機栽培でつくるトマトの糖度は 10~12 度とかなり高い。販売先は仲介業者と個人で、自分の作るトマトを待ち望んでくれている方々に早く安心・安全な美味しいトマトを届けたい。その傍ら、友人の紹介で 2023 年から多肉植物「アガベ」の育成・販売も行っている。アガベの需要は高く、十分な利益を確保できるビジネスになっている。

■豊松への想い

8 年前に移住した頃よりも過疎化がどんどん進んでいる状況を危惧している。愛娘と豊松の将来を考えた時、真剣に人口減少を食い止める策を行わないといけないと感じている。これからの 10 年間でできる事はまだまだあると思う。私は有機栽培を通して仕事を生み人を雇用し人口を増やしたい。その為には、地域の方々もこの状況を諦めず前向きに協力していただきたい。

■今後の目標

まずは、来年のトマトづくりに向けた土壌の改良を行い、有機栽培でのトマトをまた多くの方に届ける事。そして、有機栽培ができる農家を増やし豊松の主たる産業にする事を目標としている。加えて、アガベの育成・販売にも引き続き力を入れ、アガベを通して多くの仲間を作りたい。プライベートでは、16 歳から始めた DJ の活動で全国を回りたい。47 歳になった今でも、東京や福岡、広島に高知とお呼びがかかればどこへでも行く。遠い将来は愛娘と共に海外への移住もしてみたいと考えている。

~とよまつむらナウ⑤~ 菊の生産販売 ~

佐藤農園 代表 佐藤孝行さん
年齢:80 歳
出身地・現住所:神石高原町上豊松
職業:農業



■菊づくりのきっかけ

平成 18 年 3 月に役職を退職し、平成 19 年 3 月から菊の生産を開始。本来はお米とこんにゃくを生産していたが、こんにゃく作りはかなりの肉体労働で体力的にも辛い時期であったことと、妻の実家が菊農家でノウハウもあったことがきっかけで、こんにゃくから菊へ転換した。

■18 年間の推移と苦労

菊づくりを始めるに際し初期投資がかなりかかったため、最初の 5 年間は赤字だった。初年度は 6a 程度だった作付面積が徐々に拡大し、令和元年には 44a までになった。目に見える形で売上も上昇していった。また、菊の価格も右肩上がりだったことも売上増加の要因である。14 年目の令和 2 年は、面積・売上ともに過去最高を達成した。その代わり、菊の生産にかける時間も増え、4 月下旬の定植から 10 月上旬の収穫が終わるまでは休む暇もない。とにかく病害虫対策が重要で、予防は週 1 回しなければならず、菊から目が離せない日々が続く。収穫が終了したら少しは落ち着くが、翌年の準備に入るため冬場を含め 1 年を通して作業をしている。

■今後の菊づくりについて

80 歳の太台に乗ったことと後継者がいないことで、今年は作付面積を最盛期の 44a から 26a へ減らした。これからは、趣味のゴルフにも行きたいし、老人クラブの行事にも参加したい。とにかく余生を楽しみたい。ただ、若い方に一言言いたい。菊づくりには夢がある。本気でやれば売上もそれなりに目指せるビジネスである。今、世間では「令和の米騒動」とニュースで毎日取り上げているが、政府には生産者がもっと潤うシステムを作り、農業の担い手を増やす方策を行って、生きていくための食糧の生産を推進して欲しい。

●佐藤農園:TEL 0847-84-2546

☆全国健康福祉祭(ねんりんピック)正式種目!!☆

＊アガベを楽しむ教室(新規)＊

本年度新規教室「アガベを楽しむ教室」5月23日に豊松地区外の方も参加されました。講師は地元の中山秀一さんでアガベの土づくり、種の植え付け等を教えていただきとても楽しい時間でした。数日後、参加者の方々から芽が出てきたと報告が入り、今後は楽しみです。



健康は、脳をフル回転させながら鍛えます。脳を使うだけでなく、指先の動きを繰り返す五感とコミュニケーション能力も必要です。
更に、指先を使うので、脳に刺激が与えられ、認知症予防にもなります!

健康マージャンサロン

開催日: 毎月第2・第4水曜日の13:00~17:00
場 所: 西山篤雄さん宅(旧 藤井友一さん宅) 下豊松 724
参加費: 1,000 円(場所代・商品代)
参加人数: 8 名様まで
【未経験の方も大歓迎!!みんなで楽しく脳トレしましょう!】

【お問合せ・参加申込】
豊松協働支援センター TEL:0847-84-2226



5月10日「入学進級おめでとう!お茶会を行いました。今回は都合が悪く4人の子どもの参加でした。初めに参加した人は緊張しながらもお点前を頑張っていました。小学校の校長先生が応援に来てくださいました。

♪マナー教室♪



＃パン教室＃

今年度もパン教室が始まりました。5月28日のソフトフランスバターパンはバターと塩味が効いてフワフワの美味しいパンです。久しぶりのパン教室で皆さん、握ったり丸めたりして可愛いパンが焼き上がりしました。



A B C D E F G



英会話教室は5月29日から新しい仲間が増え、最初にボールをキャッチした人が自己紹介で自分の名前や好きなものを英語で紹介しました。体を動かしたりして楽しく学んでいました。



What is name?
My name is

＋ハンドメイドフラワー教室＋

「いろんな花材を使って花アレンジメントしてみませんか?」をテーマに色とりどりの花材を使って自分だけのアレンジの作品が出来ました。(5月31日)



ステンドグラス教室

ステンドグラス、立体に挑戦します!!

★日時 7月26日(土)9:30~15:00(予定)
★場所 とよまつ総合センター
★講師 藤本代さん 園末久子さん
★材料費 5,500円
★持参物 軍手、汚れても良いタオル、エプロン、お弁当・飲み物(昼食)
★参加人数 13人まで(先着順で)
★ア切 7月10日までに豊松協働支援センターまで申込みしてください。TEL 84-2226

♪*8月の予定*

- ◎8月22日(金) チョークアート教室
- ◎8月23日(土) 陶芸教室
- ◎8月30日(土) わくわくソーイング教室

●申込み・問い合わせ● 720-1704 広島県神石郡神石高原町下豊松741番地

豊松協働支援センター【電話 0847(84)2226】



フェイスブック



ホームページ



YouTube

ご視聴を
願います。